

「感謝」30年の節目 れんげの会が記念大会



7月1日(日)、町障害者(児)親の会《れんげの会》主催の「30周年記念大会」が町民会館で開催されました。同会は、平成元年に障がい者の福祉の充実・強化を図るための活動や情報交換などを行うことを目的とし、松永民夫さんら知的障がいを持つ子の親らが中心となって発足し、福祉大会への参加、他団体との交流会実施など、30年間様々な活動に取り組んできました。

大会の第1部では、会員が舞台に登壇し、「養老スマイルソング」など数曲を会場の観客と一緒に合奏をしました。また、第2部では、ダウン症の書家、金澤翔子さんが「共に生きる」と揮毫を披露。続いて、母親の泰子さんが「ダウン症の娘と共に生きて」を演題に講演を行いました。講演の最後には、翔子さんが大好きな洋楽ロックの曲に合わせてダンスを披露し、会場からは大きな拍手がわき起こりました。

今月の題字

日吉小学校1年

しみず そう
清水 壮さん

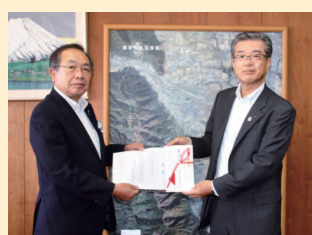


げんちゃんを頑張って描きました

ご寄附ありがとうございました

～環境に関わる事業に～

西美濃農業協同組合
15,516円
(レジ袋代金)



◀大橋孝町長に目録を手渡し
加賀清孝 常務



乗って守ろう
養老鉄道



古紙配合の再生紙を使用しています

